

平成24年度補正予算案及び平成25年度予算案における
宇宙関係予算について(速報値)

全府省総額

平成24年度 補正予算案 417 億円

平成25年度 予算案 3,218 億円

(対前年度当初予算比 239 億円増 (8.0%増))

(参考)平成24年度 補正予算案 + 平成25年度 予算案 3,636 億円

(対24年度当初予算比 657 億円増 (22.0%増))

(内訳)

(単位：億円)

府省名	平成24年度 当初予算 ①	平成24年度 補正予算案 ②	平成25年度 予算案 ③	対前年度 増▲減 (増▲減比) ③-①	(参 考)	
					平成24年度補 正予算案 + 平成25年度予 算案 ④=②+③	対前年度 増▲減 (増▲減比) ④-①
内閣官房	630	-	609	▲ 22 (▲ 3.4%)	609	▲ 22 (▲ 3.4%)
内閣府	112	-	109	▲ 3 (▲ 2.6%)	109	▲ 3 (▲ 2.6%)
警察庁	8	44	8	+ 0 (+ 3.8%)	53	+ 45 (+ 569%)
総務省	40	26	22	▲ 18 (▲45.5%)	48	+ 8 (+ 21.1%)
外務省	2	-	2	▲ 0 (▲ 9.1%)	2	▲ 0 (▲ 9.1%)
文部科学省	1,739	229	1,643	▲ 96 (▲ 5.5%)	1,872	+ 133 (+ 7.7%)
農林水産省	4	-	2	▲ 2 (▲60.6%)	2	▲ 2 (▲60.6%)
経済産業省	37	99	31	▲ 6 (▲17.2%)	129	+ 92 (+ 347%)
国土交通省	96	-	94	▲ 2 (▲ 2.1%)	94	▲ 2 (▲ 2.1%)
環境省	24	19	23	▲ 0 (▲ 1.1%)	42	+ 19 (+ 79.1%)
防衛省	288	0.3	677	+ 389 (+135.0%)	677	+ 389 (+ 135.1%)
合計	2,979	417	3,218	+ 239 (+ 8.0%)	3,636	+ 657 (+ 22.0%)

(係数については、四捨五入によっているので計と符合しないことがある。)

平成24年度補正予算案（宇宙関係予算）【各府省の施策】

全府省庁合計 417億円

【警察庁】	4,447	【経済産業省】	9,850
○ 災害・テロへの対処能力の向上	18（新規）	○ 超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	5,850
○ バックアップ(代替)施設の通信機能の確保	3,845（新規）	○ 小型衛星群等によるリアルタイム地球観測網システムの研究開発	3,000（新規）
○ 警察情報通信ネットワーク(基幹通信網)の強化	585（新規）	○ 太陽光発電無線送受電技術の研究開発	1,000
【総務省】	2,642	【環境省】	1,900
○ 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発	1,543	○ いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備	1,900
○ 将来の衛星通信技術の検討	100（新規）		
○ 宇宙環境観測設備の整備	1,000（新規）		
【文部科学省】	22,879	【防衛省】	28
○ 陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	10,253	○ Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	28
○ 全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)	2,244		
○ 気候変動観測衛星「GCOM-C」	1,015		
○ 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	527		
○ 施設整備費	8,839		

各府省庁の金額の単位は百万円。
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

平成25年度予算案（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,218億円

【内閣官房】	60,853	(▲2,168)	【農林水産省】	162	(▲249)
○ 情報収集衛星関係経費	60,842	(▲2,160)	○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	26	(▲27)
【内閣府】	10,893	(▲287)	○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用	137	(▲223)
○ 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	10,555	(▲48)	【経済産業省】	3,089	(▲640)
○ 宇宙利用拡大の戦略策定	38	(新規)	○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,530	(▲270)
○ 宇宙輸送戦略の立案	14	(新規)	○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	740	(▲131)
○ 衛星通信回線の利用料(防災)	141	(+32)	○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	127	(▲23)
【警察庁】	818	(+30)	○ 準天頂衛星システム利用実証事業	50	(新規)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	818	(+30)	【国土交通省】	9,399	(▲204)
【総務省】	2,166	(▲1,806)	○ 静止気象衛星業務等	8,329	(▲114)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,062	(▲23)	○ 人工衛星の測量分野への利活用	916	(▲109)
【外務省】	189	(▲19)	【環境省】	2,342	(▲26)
○ 衛星画像判読分析支援	173	(▲20)	○ 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)による地球環境観測事業	109	(▲11)
○ 宇宙外交推進費	15	(+1)	○ 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)開発体制整備等	1,315	(▲37)
【文部科学省】	164,285	(▲9,573)	○ 衛星による地球環境観測経費	774	(+81)
○ イプシロンロケット	8,200	(+2,590)	【防衛省】	67,651	(+38,865)
○ 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	10,259	(+7,272)	○ Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	21,878	(+8,949)
○ 日本実験棟「きぼう」の運用・科学研究等	13,626	(▲759)	○ 商用画像衛星の利用等	8,325	(+489)
○ 宇宙ステーション補給機「こうのと」(HTV)	24,384	(±0)	○ 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	1,120	(▲798)
○ 陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	4,364	(+783)	○ 弾道ミサイル防衛(BMD)(宇宙関連)	36,317	(+30,229)
○ 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	194	(新規)			

各府省庁の金額の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。